

はっとい院長の健康トーク Vol.4

金沢市大友1丁目109番地

はっとい大腸肛門クリニック

服部 和伸

076-238-8101



血栓性外痔核について

おしりが急に痛くなってくる疾患には

血栓性外痔核

肛門周囲膿瘍

があります。血栓性外痔核は肛門の外側の一部が固く腫れてきますが、肛門周囲膿瘍はこのような腫れではありません。今回は血栓性外痔核について話します。(肛門周囲膿瘍については「裂肛・痔瘻の治療について」に書きました。)

原因

非常に敏感に痛みを感じる肛門上皮の皮下で、血管が破れて出血し、血液が固まった血栓を形成したためです。普通は奥の直腸下部に内痔核の腫大を伴います。内痔核の発生する部位は痛みを感じないところなので、ここで血栓を作っても痛くはありません。便秘で力みすぎたり、下痢で排便の回数が増えたり、アルコールを飲みすぎたり、重いものを持ったり、寒いところに長時間いたり、激しいスポーツをしたことが、痛くなるきっかけとなるようです。

治療法

ふたつあります。

☆ひとつは手術です。腫れている部位を切開して、その下にある血栓を摘出します。今までの痛みはすぐになくなります。そのかわり、傷口の痛みが出てきます。しかし、今までの痛みと比べると非常に軽いものです。手術をするなら、なるべく早く施行したほうが良いでしょう。

この手術は入院の必要はありませんが、肛門の傷は縫うことができないので、ふさがるまでには二~三週間程度かかります。

☆もうひとつの治療法は保存的に治療する方法です。安静にして、痛み止めの薬を使えば、だいたい二~三日すれば痛みは軽減します。腫れは一週間程度でひきます。時に、保存的な治療では良くならない人がいますので、一週間しても良くならない場合は手術したほうがよいでしょう。

ポイント

治すコツはきっかけとなった原因を取り除くことです。なるべく横になって安静にしてください。入浴も積極的にしてください。血のめぐりを良くして、腫れをひかせます。おしりを冷やさないことも大切です。長時間座り続けは良くありません。アルコールや刺激物の摂取はひかえた方が良いでしょう。

くすり

痛み止めは飲み薬だけでなく、座薬も使ってもらいます。すぐに痛みをとりたい人は手術を勧めます。保存的な治療では、時々腫れた皮膚が余った状態になる方がいますが、これを治すにはその部位を切除します。

治療は早く始めるほど、早く治ります。肛門が痛くなったら、すぐに肛門科の診察を受けられることをおすすめします。